



喜多の埜

歯神社例祭のご案内

来月、六月四日は当神社の飛地（とびち）末社である歯神社の例祭日です。この歯神社は小さな祠（ほこら）のお社で、繁華街の中心、角田町において唯一戦前から残る建物として、梅田の地に今も御鎮座されておられます。

御由緒は江戸時代に、淀川の氾濫があった時に遡り、この歯神社の御神体である巨石がその洪水の流れを歯止めし、水没から梅田の街を守ったことから歯止めの神様として慕われた事に由来します。後世、音韻が通じるのを以って「歯痛止めの神様」とも慕われ、更に時代が下がるにつれ、歯のご利益あらたかなるを遠近に知られるようになり、また大阪が歯ブラシ生産量日本一の地という事もあり、現在では「歯の大神さま」として、全国の歯に関わる方々から崇敬されています。

当日は午前十一時より歯神社前にて神事があり、氏子崇敬者をはじめ参列者皆様の歯の健康と、歯ブラシへの感謝の心を御祈願いたします。終了後（十一時十五分頃）に歯ブラシの授与がございます。尚、歯ブラシの授与数は先着百名さま迄とさせていただきます。皆様のお参りをお待ち申し上げております。

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）

日時 平成廿三年六月四日（土）午前十一時

場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社

（ユニクロ梅田店 入口横）

備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

桂佐ん吉さん落語会

今月の五月四日（水）の午前十一時頃から、茶屋町の御旅社で人間国宝、桂米朝さんのお弟子さんの桂佐ん吉の落語会があります。

- 一回目 午前十一時開演
- 二回目 午後二時開演
- 三回目 午後四時開演

料金

各回 一千円

詳細は米朝事務所までお問い合わせ下さい。
米朝事務所 06-6365-8281

被災馬への支援のお願い

東日本大震災の発生から早くも五十日を超えましたが、未だに被災地は厳しい状況にあります。

その被災地の中でも、地震・津波・原発と三重苦に見舞われている福島県相馬地域は、古くから馬の産地として有名で、「相馬野馬追（そうまのうまおい）」という千年もの歴史をもつ重要無形文化財にも指定されている祭礼でも有名です。

この野馬追の神事は、相馬中村神社というお宮を中心に行われていますが、この原発事故を受けて、二〇〇頭からいる神馬たちを避難させなければならなくなり、緊急の支援をいま必要としています。

お祭りは人々の心の柱です。二〇〇頭もの馬を一旦失えば、祭礼の復活は十数年は不可能になります。ぜひご支援をお願い致します。

義援金振込先 ゆうちよ

記号 一八二五〇

番号 三三〇二八〇七一

口座名義 特定非営利活動法人 馬とあゆむSOMA

神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀知

